平成 20 年度　第 15 回理事会議事録

日　　時　平成２１年２月 12 日（木）　午後８時～同 10 時

場　　所　ホ号棟管理組合集会室

出 席 者　理事 14 名、監事２名、地域１名、タマリバ１名、山下設計･辻村

1　協　議　事　項

（1）　調布市都市計画マスタープラン

★　「染地エリア」の集約について

☆　市役所で発行しているテーマについて、
管理組合として次のようなまとめ方をした。

☆　**「染地エリアの街づくりの方向性とそのテーマ」「現況特性」「特徴的な地域資源」「エリアの課題」「カテゴリー別施策」につき、多摩川住宅が現在抱えている問題、そしてその解決策を記入した。**

☆　ゾーン種別として、中高層住宅ゾーンのうちＳ―Ⅶ―１に該当している多摩川住宅として、次のような方向性を打ち出した。

「耐震上の安全性確保」「住民の高齢化に伴う居住機能の更新、改善」「福祉、健康支援機能の導入」「市民参加型の街づくり」「新たなコミュニティー活動の創造に寄与する機能の導入」「多摩川の自然資源、エネルギー資源を活用した次世代の環境もデル住宅」など、６点について街づくりの方向性を打ち出した。

☆　これらの問題を、南部地域の山本氏と話合い（2 月 9 日）、市と山本氏が状況について折り合いが出来たころに、「管理組合」も市役所との話をすることとなった（2 月 18 日まで）。

★　多摩川住宅ゾーン（中高層ゾーン）への解決

☆　①交通、②環境、③防災、④福祉、⑤住環境、⑥景観、⑦地域活性化の７項目について、多摩川住宅からの提案を山本氏へ手渡した。

☆　例えば、交通のところでは「多摩川住宅から国領までのバス路線を整備する」など、全部で 4～5 個くらいの「提案」として、山本氏へ渡している。

☆　また、「街づくりの方向性･中高層住宅ゾーン」および「将来市街地像･中高層住宅ゾーン」などにも、多摩川住宅独自のプランを立てて、そのあるべき姿を展望している。

→　多摩川住宅（中高層住宅ゾーン）の項を参考にすること。

（2） 多摩川住宅「街づくり（地区計画）準備会」の進捗（事業計画書）

★　報告書の内容

☆　１月 20 日（火）に、調布市長、長友氏へ要望書を提出した。
その後のことついては、近々様子を聞きに市に伺ったりしていく。

★　準備会の会則（案）、事業計画など、管理組合が考えていることにつき、市役所からの同意をもらった。→別添の報告書を参考にすること。

（3） ホ号棟建替えに向けて

★　ホ号棟の建替えに向けて、意思統一を図る

★　建蔽率、容積率等などの要素があり、絶対ではないが、「建替え」につき検討する事項が近づいている。

☆　建蔽率、容積率などで、これから市と懇談を深めていくことなどもあるが、5 月の総会に向けながら考えてみることも良し。

2　報　告　事　項

（1）1 月財務報告

☆　1 月分財務報告について、了承された。

（2）防災委員会からの報告

☆　市役所から支給の 45,000 円は、テント付き仮設トイレを購入する。

（3）21 年度予算について　→　「住宅用火災警報器」の扱い

☆　「屋外の雑排水」および「住宅用火災警報器･4 個」について、第一次案として了解された。

（4）各担当理事からの報告

☆　「剪定」がまもなく終了する。

☆　アプローチ駐車場の白線、記号の補修を、2 月下旬から行う。

（5）地域活動委員会からの報告

☆　「ホ号棟確定申告相談会」の報告がなされた。29 名の参加。

（6）サロン･タマリバーからの報告　－略―

（7）階段委員会からの報告　－略―

（8）ワックスについて

☆　3 月 1 日（日）に会議室および集会室にワックスをかける。